

「ボルモラル」金鑛會社、東「ボルモラル」栽培會社、「サブツク」栽培會社、「ブ  
 シヨツア」及「スンギ」鑛山會社、「ソングイ、ユヤ」及「ラマツ」栽培會社、「マ  
 ーベル」灣貿易會社等アリ、  
 如此合資會社ノ種類ニ屬スル、營業ノ勃興ハ年々増加スルノ趨勢  
 ハ此地ノ公文ヲ見テ明ナリ、千八百八十七年ノ終リニ於テ合資會  
 社ノ數二十六ニシテ之レガ拂込金額二千六百二十三萬三千弗、其  
 株式相場額四千六百八十七萬百二十五弗タリ、千八百八十九年ノ  
 末ニハ其數又増加シ五十四ニ達シ、之レガ拂込額四千四百〇七萬  
 四千九百五十弗ニシテ、其株式相場ノ額七千七百二十萬五百五十  
 弗タリ、此ヲ以テ見ルルハ、此三年間ニ於テ會社ノ増加セシ其數二  
 十八個、又拂込資本ハ一千七百八十四萬一千九百五十弗、其株式相  
 場額ハ三千三十三萬四百二十五弗ヲ増セリ、  
 如此工業及土地ニ屬セル諸會社ノ勃興ハ理財ノ計畫設置ノ其宜

シキヲ得タルニ非ズンバアル可ラズ、然リ而シテ香港ニ於ケル銀  
 行ノ巨大ナルモノ數多アリ、濠洲及支那銀行、新東洋銀行、倫敦支那  
 銀行及香港上海銀行等アリ、特ニ香港上海銀行ハ其組織完美ニシ  
 テ歐洲主要ノ銀行ト相比シテ伯仲ス、其拂込額ハ七百五十萬弗、其  
 準備金ハ五百萬弗ニ超過シ、其發行券ハ三百萬弗以上ニシテ其預  
 入レ金額ハ七千五百萬弗タリ、  
 如此キ銀行如此キ會社ヲ以テ巒裝シタル香港ハ東洋ノ海岸ニ於  
 テ非常ノ勢力ヲ有スルノ位置ニ立テリ、英國ヨリシテ香港ニ達ス  
 ル三十日、桑港ヨリ二十日、濠洲及北京ヨリ三週間、「シンガポア」及日  
 本ヨリ十五日、上海ヨリ三日ニシテ悉ク香港ニ達スルヲ得ベシ、而  
 シテ「オセアニア」諸列島ハ其近傍ニ連リ、印度支那ハ之レト密邇シ、  
 且世界各國トハ航海線ト海底電信線トヲ以テ連絡シ、支那大陸ニ  
 對シテハ政畧上、商業上、一大專制力ヲ有ス、狀態如此實ニ香港ハ英

國人ノ拓殖ノ初期ニ希望セシ想像ノ如ク、支那人ト歐洲人トノ利益ノ競争場トナリ、(特ニ英國人ノ)世界商業ノ中心市場トナレリ、商業及政略上香港ノ好位置ヲ占有スル此ノ如シ、而シテ尙此支那沿岸ニ香港ノ必須ナルノ理由アリ、他ナシ此地ノ居住ニ適スルト其愉快ナルトニアリ、蓋シ此地一帯ノ氣候ノ不良ナル、人ノ居住ニ適セズ然レモ香港ノ如キハ能ク土木事業ト文明ノ鍛練力トヲ以テ、氣候ト戦ヒ、成功ノ目的ヲ遂ゲタルニ歸セズンバ、如此ナルベカラザルナリ、

惜ムラク、香港ニシテ夏季ノ燠熱人ヲ惱苦セシムルガ如キアラザラシメバ、實ニ精緻ナル歐洲人ヲシテ満足セシムルコト必セリ、試ニ香港ニ於ケル豪富巨商ノ生活ヲ見ヨ、其ノ住屋ハ綠陰鬱蒼タル山腹ノ高臺ニアリテ、一睇ニシテ路途ニ出デ、須臾ニシテ灣頭ニ立ツテ得ベシ、轎ニ乗シ、綠蔭芬芳ノ陰路ヲ過ギ、途次其日ニ發兌セ

シ新報ヲ手ニシ、悠然トシテ山ヲ降り且ニ商舖ニ出ツ、彼ガ買辦(カ)ンブラドール若クハ仲買人ハ夙ニ彼ノ來ルヲ待テリ、彼ハ堆積セル信書ヲ通覽シ、庶務ヲ指揮シ、電報ヲ倫敦若クハ上海ニ發送セシムルアリ、既ニ理裁シ終テ彼ハ埠頭ニ出テ、涼陰熱鬧ノ地ヲ歩シ過ギテ、銀行若クハ商業會議所ニ入ル、各種ノ商事業ハ彼ノ干與スル所トナリ、彼ハ聰明ト慎重ハ有名ナリ、彼ノ令名ト其忠言ハ幾多ノ資本ヲ得ルヨリ崇重セララル、

「クロック、タワ」時計臺ノ時計鐘ハ一時ヲ報シ晝飯ノ時至ルヤ、彼ハ再ヒ山莊ニ歸ル、招待シタル知友ハ既ニ席ニアリ、途次誘ヒ歸レル友人ト共ニ坐席頗ル賑ハシク、食膳ニハ四方ノ珍饌ヲ盡シ美酒席ニ溢ル、其供、做奢至ラザルナシ、

業務ハ再ヒ午後ニ於テ開始セラレ、五時ニ終ルヲ以テ常トス、而シテ此地ニ於テ上海香港兩地ノ義勇兵ノ競馬會、競舟會、射的會、若ク

ハ「ピクトリヤ」ノ貴婦人間ノ投球競技會、若クハ砲兵隊ト衛生隊員ノ投球會ノ催アルノ日、其他「シヨツケクツブ」「ボロー」俱樂部會、蹴球競技會ノ會員タルカ、若クハ樞密院議官ト交遊ヲ約スルガ如キ時ニ非ズンバ、一少時タリト雖モ、執務時間ヲ徒費セザルナリ、

七時ニ於テ各商店ハ悉ク閉鎖ス、夜ハ來レリ、晚餐ノ爲メニ家ニ歸ルモノアリ、或ハ俱樂部ニ集ルモノアリ、凡テ俱樂部ニ入會セントスルモノニハ嚴格ノ制限ヲ與ヘズト雖モ、之レガ會員タルモノハ、此地ノ貴紳名士タリ、此レガ食膳ハ佳良ナリ、其書籍室ハ充實完美シ、世界各地ノ新聞一トシテ備ハラザルハナシ、

薄暮ニ及ンデ人々快樂ヲ肆ニセンガ爲メ、各好ム所ニ從ヒ、時ニ「ピクトランド」或ハ「セントジヨン」「ピクトリヤロツジ」ノ宴會アルハ、之ニ趨クアリ、或ハ時ニ「フリマツスソ」ノ饗應ノ催アルハ、之レ

ニ臨ムアリ、或ハ太守ノ宴席ニ招カル、アリ、又「シヤ、ボール」ニ於テ舞踏會ノ催アルハ、此所ニ集マルアリ、劇場ノ見物、文學會ノ講筵、各其好ム所ニ從ヒ娛樂ス、

又英女皇建像開光ノ祝日、「コンノート」公、露國皇太子ノ渡來、其他香港開廳日或ハ「ロンドン」「印度」「シンガポア」或ハ亞米利加ヨリスル異域遠來ノ珍客アルヤ、人心之レガ歡迎、接待、饗宴ニ聳動狂奔シ、華奢美觀ヲ競フテ他國ニ劣ルアルヲ辱ヅ亦盛ナラズヤ、

如此ニシテ香港ニ於ケル生活ハ、愉快ト實益トヲ以テ光陰ノ消過ト共ニ送ラル、ナリ、移住民ノ多クハ二年若クハ三年ニシテ一時故國ニ歸リ、身体ト英氣ヲ養ヒ、十五年二十年ニシテ終ニ其桑梓ニ歸臥ス、是レ錦ヲ着テ郷ニ歸ルノ謂カ、彼ガ刻厲シテ得タル富ハ人ノ尊重ヲ受ケ、彼ガ餘年ハ慎重ト安穩トヲ以テ送り、併セテ後進有爲ノ少壯英俊ヲ育成スルニ孳々タリ、如此ニシテ「アングロサクソ

店書堂南

CL  
NO. 25177

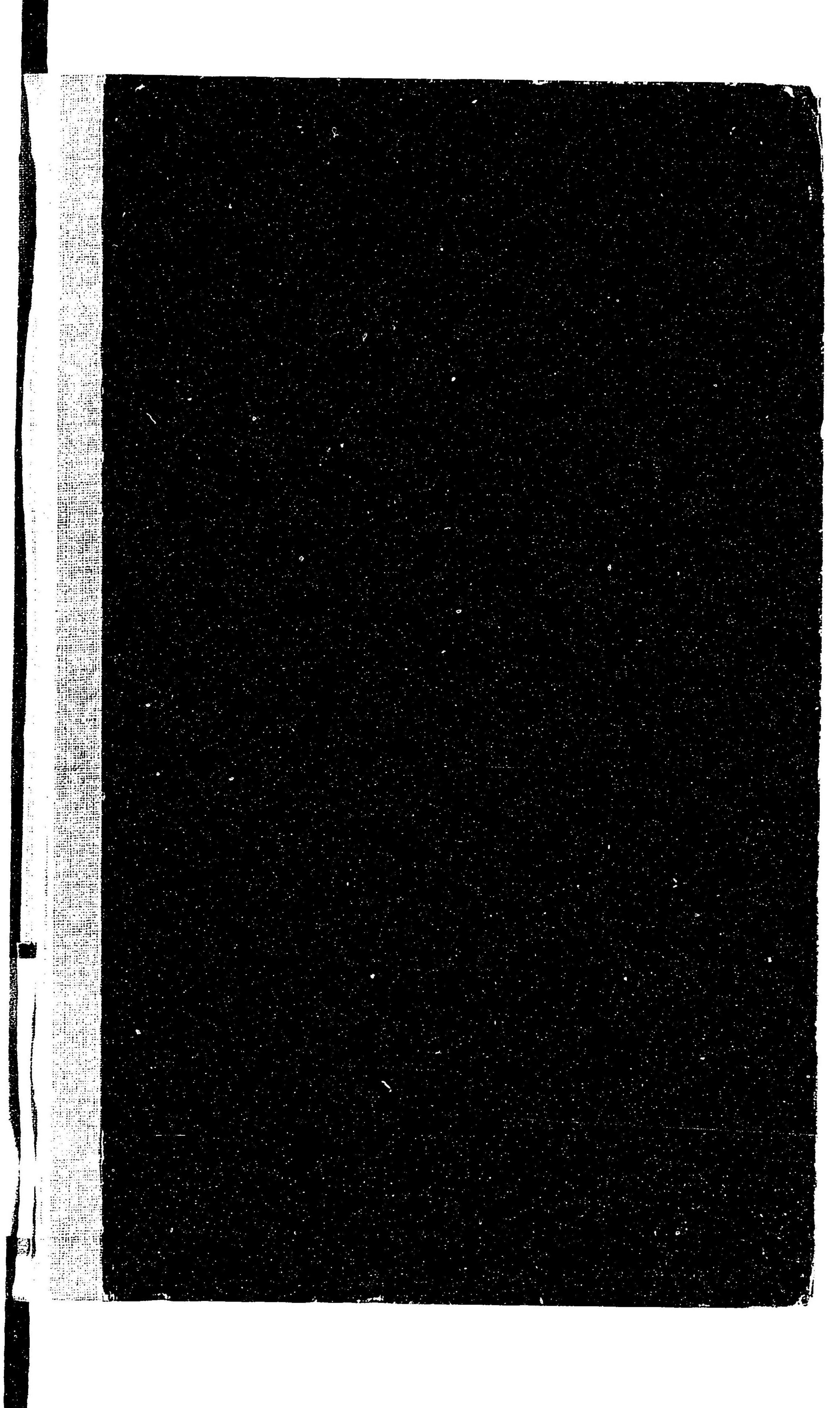
活生ノ民住ノ地民植

〇〇二

シ人種ノ名譽ナル榮威ハ巍然トシテ萬古不滅ノ隆名ヲ垂ル嗚呼  
盛ナラズヤ、

東洋ニ於ル英國ノ植民政策香港ノ部終

34.5.15



041501-000-8

334.733-To613k

於東洋英国植民政策

ヂョゼフ・シェレイ・ベール/著

M31.2

BDG-0121

